

こうしゅう 市議会広報

キャリア教育出前授業

79号

2025.7.31 発行
山梨県甲州市議会



何歳から投票できるか 知ってる人?

地方自治について



議員へ質問してみるの



やりがいは何ですか?

地方議会について

全16小中学校へ

特集 キャリア教育出前授業……………P 2～
6月定例会レポート……………P 4～
一般質問 12人の議員が市政を問う! ……P 7～
常任委員会レポート……………P 20～



マチイロ

マチを好きになるアプリ



※広報紙をスマートフォンやタブレットで

市内全小中学校へ!

小学6年生216人
中学3年生194人

令和4年からスタートした「キャリア教育出前授業」も今年で3年目。17人の全議員が6チーム(3人1組)に分かれ市内全16小中学校(21クラス)にて実施。実施期間は令和7年5月7日から5月28日の22日間。対象は小学6年生216人、中学3年生194人の計410人。

全ての学校に議員が直接伺い、教壇に立ち地方自治、地方議会、議会の流れ、議員、選挙等についてスライドを用いて話をした。授業45分(中学校は50分)に対しスライドを35分(中学校は40分)以内に終わらせ、質問時間を10分程度取る事を申し合わせた。

【日時及び担当議員】		
日付	学校	議員
7日	松里小	青柳、相沢、中村
8日	祝小	青柳、相沢、中村
9日	神金小	日向、小野、高畑
12日	塩山北小	有賀、飯島、平塚
15日	奥野田小	有賀、飯島、平塚
16日	勝沼中	矢崎、岡部、高野 廣瀬、小林
19日	塩山南小	荻原、佐藤、丸山 廣瀬、小林
	大和小	青柳、相沢、中村
20日	井尻小	荻原、佐藤、丸山
21日	大藤小	廣瀬、小林
23日	玉宮小	矢崎、岡部、高野
	松里中	有賀、飯島、平塚
26日	菱山小	日向、小野、高畑
	塩山中	荻原、佐藤、丸山
		有賀、飯島、平塚
		日向、小野、高畑
28日	東雲小	青柳、相沢、中村
	勝沼小	矢崎、岡部、高野



議員が直接授業

～質問と答え～

Q「なぜ議員になろうとしたのか」
A「長年の地域の課題を、なんとかして解決しようと思ったから」



Q「むずかしい事は」
A「市民のいろいろな意見を全てかなえる事はできない現実」

Q「給料(報酬)は」
A「一般議員は月33万」

Q「やりがいは」
A「色々な主張がある話し合いの中で、みんなが納得できる解決策として他のどこからも出ていない一つのアイデアが完成されたとき」



Q「話をまとめるにはどうしたら」
A「色々な背景をもった意見の集合体である議員、異なった意見だとしても相手を否定しないことが大事」

Q「大事にしていることは」
A「声を聞く、声を出す。みんなの学級目標と一緒にだよ」

スライドを駆使して

実際に左の写真のようにどの学校でも、モニターにスライドを映し、議員が説明した。クイズ形式を取り入れ、児童生徒が飽きない工夫した。



議会の流れの項目では実際に学校現場で使用しているPC端末や今年度特別教室に設置予定のエアコンを例にあげ、議案から議論、導入までを説明した。児童生徒にとっては一番身近なことであるため、興味関心を引く話題である。



議員の務めの説明を聞いて、生まれる一つの疑問。定例会のない日は何をしているのか。ここでは議員の日常についてもそれぞれが語った。



必ず、学校で出る質問は「給料は」。条例で定められ、自治体によって異なるが、議員が33万5000円、副議長が34万5000円、議長が38万円。



中学3年生となると、後3年で18歳。つまり選挙権が得られる。主権者教育とは、子どもたちが政治や社会のことに関心を持ち、それを「自分ごと」として考えた上で選挙などに主体的に参加する態度を養う教育である。キャリア教育出前授業では最終章として選挙の仕組みを伝えた。



令和7年甲州市議会6月定例会は、6月6日から30日までの25日間の会期で開かれ、承認案、条例案、令和7年度一般会計補正予算案など15件の事件について慎重審議を行いました。
主な議決内容を要約してお伝えします。

戦後80年平和展・日本原水爆被害者団体協議会講演会開催



8月に講演会を行う日本原水爆被害者団体協議会が発行している冊子等

◆令和7年度一般会計補正予算(第1号)は、945万5000円を追加し、総額を208億945万5000円としました。主な歳出入内容は総務費に、戦後80年平和展・日本被団協講演会開催経費として62万7000円、民生費に障害者自立支援給付費として231万円、消防費に防災行政無線管理費として651万8000円を追加するもので、総額を210億7203万2000円としました。主な歳出内容は総務費に定額減税補足給付金給付事業費等として2億3958万円、民生費に障害者自立支援給付費として862万2000円、農林水産業費に農業振興一般経費等として979万1000円、教育費に中学校管理費等として458万4000円を追加するものです。主な歳入内容は、国庫支出金に2億3789万3000円、県支出金に914万1000円、繰越金に1064万3000円、市債に400万円を追加するもので、可決されました。

◆令和7年度一般会計補正予算(第2号)は、2億6257万7000円を追加

し、総額を210億7203万2000円としました。主な歳出内容は総務費に定額減税補足給付金給付事業費等として2億3958万円、民生費に障害者自立支援給付費として862万2000円、農林水産業費に農業振興一般経費等として979万1000円、教育費に中学校管理費等として458万4000円を追加するものです。主な歳入内容は、国庫支出金に2億3789万3000円、県支出金に914万1000円、繰越金に1064万3000円、市債に400万円を追加するもので、可決されました。

◆訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出に関する請願は、全会一致で採択され、関係省庁に意見書を提出しました。

◆文化財保護条例の一部改正は、市文化財審議会について、構成する委員の人数の弾力化及び調査・審議する文化財に応じて臨時委員を設置できるようにするため、所要の改正が必要であり可決されました。

2つの条例、補正予算 討論・採択により賛成多数で可決

◆交流保養センター設置及び管理条例の一部改正は、市温泉保養施設「大菩薩の湯」の使用料等の見直しを行うこととした条例改正案、「可決すべきもの」として厚生経済常任委員長の報告に対して反対・賛成討論が行われましたが、採決の結果賛成多数で可決されました。

◆委員長報告に賛成討論
小林真理子議員 健全運営のため近隣市を参考にした

◆委員長報告に反対討論
小林真理子議員 健全運営のため近隣市を参考にしたとのことだが、値上げをしても収支予測が赤字、決算で指摘された支出が多い点や購入した備品の活用事業など、料金の改定以前に、業務の見直しが成されていない。市民福祉の増進の観点から大幅な値上げをするべきではない。回数券の取扱いについても条例に明記がないにも関わらず、本年4月から条例の範囲内での料金改定がなされたことに伴い既に購入された回数券に差額を求めることとしており、本条例改正も同様であると

した。一方で市の他の施設では同様の状況であるにも関わらず差額支払いはしないとした例もある。施設ごとに対応が異なるのは条例の不備があると言える。以上のことから反対する。

◆委員長報告に賛成討論
矢崎友規議員 大菩薩の湯が市民福祉の増進の場として

交流人口を増やすイベントや利用者の満足度を上げる取り組みをしている点は評価できる。現状の料金は社会情勢に照らした料金とは言いがたく、経営悪化や施設の維持管理に支障をきたす不安もある。安定した運営のため受益者負担の原則に立ち、税金で賄うのではなく、持続可能な運営体制を築くため料金改定が必要であり賛成する。

◆ぶどうの丘事業の設置等に関する条例の一部改正は、利用者の需要の拡大に対応するため、RVパークの区画数を増設すること及び運

営コストの増加に伴い、料金の見直しを行なうこととし、所要の改正が必要であり可決されました。

◆ぶどうの丘施設設置及び管理条例の一部改正は、運営コスト増加に伴い、イベントホール、宿泊施設及び温泉施設の料金見直しを行なうこととし、所要の改正が必要であり可決されました。

◆やまと天目山温泉資源活用施設設置及び管理条例の一部改正は、使用料等の見直しを行うこととした改正案、「可決すべきもの」として厚生経済常任委員長の報告に対して反対討論が行われましたが、採決の結果賛成多数で可決されました。

◆委員長報告に反対討論
小林真理子議員 市民福祉の増進の観点から値上げすべきではない。回数券の取り扱いも不適切、この点について大菩薩の湯と同様であり反対する。

◆令和7年度一般会計補正予算(第3号)は、247万3000円を追加し、総額

については専決処分を、それ以外については所要の改正を行う必要があり、可決されました。

◆字の区域変更は、県営土地改良事業により市内2地区において、道路・水路等を整備したことに伴い、字の区域を変更することについて所要の改正が必要であり可決されました。

◆訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出に関する請願は、全会一致で採択され、関係省庁に意見書を提出しました。

◆文化財保護条例の一部改正は、市文化財審議会について、構成する委員の人数の弾力化及び調査・審議する文化財に応じて臨時委員を設置できるようにするため、所要の改正が必要であり可決されました。

先進的な教育施策が評価されての選定であり極めて重要。また本補正予算は教育予算だけでなく、補聴器購入補助事業も含み、生成AI事業への不安視を理由に反対することは市全体のバランスある教育施策、福祉施策を妨げる恐れがある。以上の事から賛成する。

◆小中学校ICT端末請負契約の締結については、公募型ポータルにおいて選定され、購入金額1億815万1296円にて6月20日に仮契約を締結したもので、可決されました。

委員会等の構成を変更

6月定例会初日において委員会の構成が変更されました。

【議会運営委員会】

- ◎高畑一幸 ○相沢俊行
- 丸山国一 中村勝彦
- 日向正 岡部紀久雄
- 青柳好文 矢崎友規

※1 学校における教育・学習内容が質・量ともに過剰/過密となることで、児童生徒や教員に過度な物理的・精神的な負担がかかっている状態」を指す
※2 本調査の前に、予備的・試験的に行う調査のこと



12人の議員が 市政を問う!

質問議員	質問内容	ページ
飯島 孝也 (新政会)	①外国人の受入れ体制について ②農業振興について ③公社について	8
矢崎 友規 (どんぐり)	①地域活性化の取り組みについて ②市民生活向上の取り組みについて	9
岡部紀久雄 (政和クラブ)	①野焼等の安全対策について ②災害時におけるペットの避難所の受入れ対策について ③甲州市の知名度アップにつながる有効な手段について	10
平塚 悟 (無所属)	①地方創生 2.0 と甲州市総合戦略 ②関係人口の創出、ふるさと納税の活用 ③文化的景観保存事業と農業政策 ④地域公共交通の今後について	11
日向 正 (どんぐり)	①地域創生推進事業について ②防災対策について ③ゼロカーボン事業について	12
荻原 哲也 (無所属)	①甲州市内で行われる芸術祭との連携による地域振興について ②災害時における生活用水の確保について ③市役所来訪者への音楽による憩いの場の提供について	13
高野 浩一 (無所属)	①農業振興について ②副業プロ人材活用事業について ③子育て支援について ④スポーツ振興について	14
相沢 俊行 (どんぐり)	①28年春完成予定の外資ホテルに対応し、県の歴史文化公園に指定されている「恵林寺・放光寺・塩山ふれあいの森総合公園」の戦略的活用・整備の必要性について ②環境センター跡地公園について ③介護保険制度が揺らぎつつある今、超高齢市の本市の現状と未来に鑑みた重点施策シフトの必要性について ④人生の最後に備える高齢者及び遺族の不安に寄り添った、新たな行政サービスに向けて	15
高畑 一幸 (政和クラブ)	①献血の対応について ②奨学金返還補助について	16
有賀 公子 (公明党)	①大和地域の活性化について ②甲州市の未来を担う若者支援について ③まちレポアプリ等の今後の活用について ④災害に強いまちづくりについて	17
佐藤 浩美 (日本共産党)	①物価高騰に対する対策について ②小学生の放課後・休日の過ごし方について ③ICT教育について	18
丸山 国一 (フォーラム進夢)	①防災について ②カスタマーハラスメント防止対応について ③空き物件の対策について ④交流事業について	19

一般質問

6月定例会では、産業・教育・福祉など市政全般にわたり、6月18日・19日の2日間、一般質問が行われました。それぞれの内容を要約してお伝えします。

詳細な内容は、甲州市議会ホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。6月定例会会議録を市立図書館などでご覧ください。掲載・発行はいつでも9月上旬の予定です。



会議録検索システム

令和7年6月定例会議案等議決結果一覧表

(賛成=○ 反対=● 退席=△ 欠席=欠)

種別	議案番号	議案名	議員名												結果			
			掲議 掲載 ページ	荻原 哲也	有賀 公子	佐藤 浩美	小野 浩一	矢崎 友規	相沢 俊行	平塚 悟	飯島 孝也	高野 浩一	青柳 好文	高畑 一幸		岡部 紀久雄	日向 正	中村 勝彦
承認案	承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(甲州市税条例等の一部を改正する条例制定)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(甲州市地域経済牽引事業促進区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条例案	議案第36号	甲州市税条例の一部を改正する条例制定について	P. 4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第37号	甲州市交流保養センター設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	P. 5	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第38号	甲州市やまと天目山温泉資源活用施設設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	P. 5	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第39号	甲州市文化財保護条例の一部を改正する条例制定について	P. 5															
	議案第40号	甲州市ぶどうの丘事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	P. 5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第41号	甲州市勝沼ぶどうの丘施設設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	P. 5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
補正予算案	議案第42号	令和7年度甲州市一般会計補正予算(第1号)※初日議決	P. 4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第43号	令和7年度甲州市一般会計補正予算(第2号)	P. 4															
	議案第46号	令和7年度甲州市一般会計補正予算(第3号)	P. 5	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他の案件	議案第44号	字の区域の変更について																
	議案第47号	請負契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第48号	財産(動産)の取得について	P. 5															
報告事項	報告第1号	令和6年度甲州市一般会計繰越明許費繰越計算書について		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
請願	請願第1号	訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出に関する請願	P. 4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
議員発議案	発議案第2号	訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出について	P. 4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

子どもたちが主役! 市長・議長・議員体験【子ども議会】 【8月1日(金)開催】

議会の仕組み、
甲州市のことを考えてみませんか・・・

将来を担う子どもたちが議会の体験を通し、市政や地域、社会に関心を深め、主体性と地域への愛着と誇りを育てていただくお手伝いをさせていただきます。各学校の代表者が実際に議場で議員などの役割を体験します。

今年のテーマは「世界農業遺産とまちづくり」です。

※傍聴について(席に限りはあります)

・午前(10:30～11:30)

・午後(14:30～15:30)

※後日、CATVでの放映があります。

※写真は昨年の様子です。





矢崎 友規 議員
どんぐり



犬の飼い主の方や
これから飼う方へ
(市HP)

問 観光客が本市に長時間滞在するための取り組みは。

答 滞在時間拡大には多種多様な宿泊施設が必要である。民間の新ホテルが建設予定である。また観光メニューを充実させるため、既存施設や多くの観光資源を組み合わせて提供していく。

問 観光客の満足度を高めるための観光施策の展開は。

答 多様化する観光ニーズを的確に捉えるため、本年度からデジタルスタンプラリーを実施する。

問 効果的なブランディングと観光振興による地域経済の活性化の見解を問う。

答 全国的にイメージしやすい果物やワインのブランディングを進めることにより、その他の豊富な観光資源の魅力を発信することが可能になる。また観光産業は裾野が広く、経済波及効果があり、地域経済を活性化させる。創意工夫を凝らし観光振興に取り組んでいく。

問 撮影場所になることで地域活性化につながるかと考えるが、フィルムコミッションに力を注ぐべきでは。

答 ロケ地巡礼などによる宣伝効果がある。戦略的な宣伝の機会と捉え、今後も富士の国フィルムコミッション

問 域内循環を確立、促進するためには、経済効果を把握し、施策に反映していくことが重要であると考えますが、見解を問う。

答 商工会と連携し、個人商店や商店街の魅力向上のため、まちゼミ開催やコミユニケーションの場の提供をしている。しかし消費者アンケートでは、最寄りの商店の利用を控える傾向にあるため、商工会との連携をさらに深め協力していく。

問 テクノロジーの活用による生産性向上の政策展開とデジタルコンテンツを地

問 飼い犬の飼育管理とマナーの周知を問う。

答 飼い犬等飼育管理条例により、飼い主に適正飼育や係留を義務付けている。万が一、人を傷つけた場合は、保健所に届け出ることになっていく。広報紙やHPに犬の飼い方を掲載するほか、峡東3市で犬のしつ

問 生理的貧困に関する本市の取り組み状況を問う。

答 令和4年7月から、本庁舎、各支所や社会福祉協議会において、女性職員が対応し生理用品を無料配布をしている。

問 貧困問題に対する継続的な支援の仕組みづくりが必要ではないか。

答 生活困窮者自立支援法に基づき、相談支援員が寄り添い、各種支援策を行っており、継続的な支援の体制は整っている。



朝市の会場で休憩中の仲良しトリオ

答 商工会との連携をさらに深める

問 域内循環を確立促進するためには



飯島 孝也 議員
新国会



さかいまちづくり公社が掲げる
“地域公社”というあり方
(CONNECTX MAGAZINE HP)

問 公社設立の目的は

答 地域活性化と雇用の創出である



世界農業遺産の構成要素の一つである
甲州式ぶどう棚と石垣

問 外国人の育成就業についての考え方は。

答 令和9年度から本格運用が予定されており、技能実習制度に代わる制度である。労働力不足解消に期待しており、制度の有効性を確認しながら取り組む。

問 市内の外国人就労が進むと考えられる事業はどのようなものが挙げられるか。

答 医療、介護、農業、製造業、建設業などである。

問 外国人の定住・永住を見据え、地域社会での受け入れ準備が必要ではないか。

答 まずは労働環境整備が先決であり、企業や事業所

問 世界農業遺産を構成する石垣やぶどう棚などの農業構造物の保全が課題となっている。農家の個人積み立てと公的支援を組み合わせたシステムの導入を。

答 「甲州式ぶどう棚の棚かけ講習会」や「石積みワークショップ」などの技術継承活動を実施しており、棚の補修等への支援策についても検討していく。

問 熟練度を要しない農業をメニュー化、体験観光として実施し、従事者には返礼品として地場産品を返すような企画を提案する。

答 農業の担い手不足は深刻な課題である。果樹農業は高い技術力が求められるが、ジベ処理や袋かけ、傘かけ等スポット的に担う体制が構築できれば農繁期における担い手不足解消につながる。今後、体験型観光に農泊の要素を含め調査研究していく。

問 果樹農業の経営基盤の安定化に向けて市としての支援についてどのように考えているか。

答 スマート農業の積極的

問 公社設置の目的を問う。

答 地域を活性化し雇用を生み出すためである。若年層の流出要因である働く場の少なさを解消することに期待している。

問 どんな事業計画か。

答 ふるさと納税事業の推進を第一歩とし、事務経費の削減、新規特産品・返礼品開発を通じて地域振興を図る公的な民間企業として、事業展開を想定している。将来的には、民間視点での市の強み・弱み分析に基づき、市に提案を行いながら事業拡大を目指す。

問 勝沼ぶどうの丘が公社の担い手として適当では。

答 公営企業として存続、公社と協働していく方針。

問 販売、マーケティング、商品開発などの機能を公社が果たすべきである。今後の在り方を問う。

答 副市長 私が会長である庁内検討会議で人材、経営体制、資本関係などを、先進事例も参考に検討していく。



平塚 悟 議員 無所属



市地域公共交通会議 (市HP)

問 必要な総合戦略は人口減少に適応する、身の丈にあった行政運営を継続すること、人口減少のスピードを緩めることだが、成果と課題を問う。

答 子育て支援の成果はあるものの結婚関連の達成率が低く、交通や地域の安全面、地域活動の活性化にも課題が残る状況だ。全体評価では「しごと」分野では成果が見られるものの「ひと」や「まち」分野は好循環の確立には至っていない。

問 第3期の総合戦略について、まちづくりの方向性

答 魅力ある仕事と未来を担う人材の育成、地域経済の活性化、結婚・出産・子育て・教育の希望がかなう支援、地域コミュニティの充実等を掲げ、推進する。

問 ふるさと納税事業の好調な結果について、要因を問う。

答 令和5年度との比較で件数は減少だが、寄附額は増額となっている。返礼品の品質が評価された。

問 好調な流れを一過性に

答 歴史と文化が息づく勝沼の景観を、国の重要な文化的景観とする認定事業についての進捗を問う。

問 勝沼地域のブドウ畑及びワイナリー群のある景観を重要な文化的景観として守っていくため、国からの選定が得られるよう取り組みを進めている。文化的景観の位置や範囲、保存に向けた保存活用計画の策定に向けて、庁内協議を行っている段階である。

問 峡東地区の世界農業遺産と勝沼の重要な文化的景観の関連性を問う。

答 この二つは、守るべきもの、目指すべき方向性は同じである。相互に補完しあい、連携して情報発信や保存活用につなげていく。

問 AIデマンド交通やキヤッシュレス決済の導入、クリーンエネルギー車両の導入など、DXを今後どの

答 デマンドバスの運行エリアが塩山地域に限定されているため勝沼、大和地域の市民との間に、大きな格差が生まれている。行政サービスの公平性の観点からも看過できない。運行エリアの拡大計画を問う。

問 甲州市地域公共交通会議で協議、検討をしていく

答 ように進めていくのか。

答 令和6年7月からウェブ予約機能を導入した。本年4月から5月までの利用予約者数は141人で浸透してきている。今後も研究していく。



公平性が問われるデマンドバス

問 総合戦略の成果を問う

答 結婚関連や交通など課題が残る

問 必要な総合戦略は人口減少に適応する、身の丈にあった行政運営を継続すること、人口減少のスピードを緩めることだが、成果と課題を問う。

答 子育て支援の成果はあるものの結婚関連の達成率が低く、交通や地域の安全面、地域活動の活性化にも課題が残る状況だ。全体評価では「しごと」分野では成果が見られるものの「ひと」や「まち」分野は好循環の確立には至っていない。

問 第3期の総合戦略について、まちづくりの方向性

答 魅力ある仕事と未来を担う人材の育成、地域経済の活性化、結婚・出産・子育て・教育の希望がかなう支援、地域コミュニティの充実等を掲げ、推進する。

問 ふるさと納税事業の好調な結果について、要因を問う。

答 令和5年度との比較で件数は減少だが、寄附額は増額となっている。返礼品の品質が評価された。

問 好調な流れを一過性に

答 歴史と文化が息づく勝沼の景観を、国の重要な文化的景観とする認定事業についての進捗を問う。

問 勝沼地域のブドウ畑及びワイナリー群のある景観を重要な文化的景観として守っていくため、国からの選定が得られるよう取り組みを進めている。文化的景観の位置や範囲、保存に向けた保存活用計画の策定に向けて、庁内協議を行っている段階である。

問 峡東地区の世界農業遺産と勝沼の重要な文化的景観の関連性を問う。

答 この二つは、守るべきもの、目指すべき方向性は同じである。相互に補完しあい、連携して情報発信や保存活用につなげていく。

問 AIデマンド交通やキヤッシュレス決済の導入、クリーンエネルギー車両の導入など、DXを今後どの

答 デマンドバスの運行エリアが塩山地域に限定されているため勝沼、大和地域の市民との間に、大きな格差が生まれている。行政サービスの公平性の観点からも看過できない。運行エリアの拡大計画を問う。

問 甲州市地域公共交通会議で協議、検討をしていく

答 ように進めていくのか。

答 令和6年7月からウェブ予約機能を導入した。本年4月から5月までの利用予約者数は141人で浸透してきている。今後も研究していく。



岡部紀久雄 議員 政和クラブ



ペットの災害対策 [動物の愛護と適切な管理] (環境省 HP)

問 災害時。ペット同行避難対策は

答 環境省のガイドラインに基づき対応している



消防団の山林火災を想定した合同演習の様子

問 山林火災が全国的に多発する中、市内での野焼き抑止の対策を問う。

答 廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、野焼きは禁止されている。市では通報に応じ職員が現地指導を行い、広報誌やHP等で周知している。

問 野焼きの通報が消防署へされた際の市と消防署の連携や、協力体制を問う。

答 昨年度野焼きの苦情は、市民から10件、消防署経由で2件あった。通報内容は、ほやや悪臭等であり、消防と市が現場へ出向き連携し指導を実施した。

問 災害時のペット同行避難への対応状況と飼い主への理解と周知を問う。

答 環境省ガイドラインに基づき同行避難を基本とし、飼い主の責務として平常時から災害に備えたペット用備蓄品の確保や避難ルートの確認、同行避難に必要なしつけや予防接種など飼い主への対応状況を問う。

問 本市の林野火災防止の対策について問う。

答 本市消防団では、消防署と連携し、林野火災を想定した演習を年間計画に組み込み実施している。また、火災予防週間に合わせて、各消防団地区内で火災予防の周知啓発活動も行っている。

問 20周年記念事業などを通じ発信強化、ふるさと納税の活用など様々な場面で知名度の向上に努める。

問 マグネット広告による市民協力型PR活動の可能性について問う。

答 アイデアとしては理解する。安全面や情報発信の効果性を考慮しSNS等を活用した現代の広報手法に合わせた工夫に取り組み。

問 観光協会等と連携した知名度アップの取り組みは。

答 観光協会HPやSNSを通じて情報発信、首都圏でのPR活動やノベルティ配布など戦略的な情報発信を行い知名度アップを図る。

問 剪定枝の焼却が認められる農業者への安全指導や周知の実態を問う。

答 風向や延焼対策、近隣への配慮などをJAと連携し講習会等で周知。安全な生活環境確保に努めている。

問 焼却に代わる剪定枝処理として、ウッドチップ導入補助の考えを問う。

答 県の補助制度を活用し、ウッドチップ等を使用し堆肥化を進め、脱炭素化も視野に環境に優しい農業への取り組みを進めていく。

問 本市の林野火災防止の対策について問う。

答 本市消防団では、消防署と連携し、林野火災を想定した演習を年間計画に組み込み実施している。また、火災予防週間に合わせて、各消防団地区内で火災予防の周知啓発活動も行っている。

問 20周年記念事業などを通じ発信強化、ふるさと納税の活用など様々な場面で知名度の向上に努める。

問 マグネット広告による市民協力型PR活動の可能性について問う。

答 アイデアとしては理解する。安全面や情報発信の効果性を考慮しSNS等を活用した現代の広報手法に合わせた工夫に取り組み。

問 観光協会等と連携した知名度アップの取り組みは。

答 観光協会HPやSNSを通じて情報発信、首都圏でのPR活動やノベルティ配布など戦略的な情報発信を行い知名度アップを図る。

問 主による自助の徹底を広報誌やSNSで発信。獣医師会や動物愛護団体と連携し啓発活動を展開し、避難体制構築に努めていく。

問 ペット同行避難における施設整備と受益者負担の考えを問う。

答 避難所は配慮が必要であり、同伴避難は難しい。平常時の備えと自己責任、自己負担の啓発を進める。

問 市政施行20周年を機に知名度向上策の具体的な考えを問う。

答 20周年記念事業などを通じ発信強化、ふるさと納税の活用など様々な場面で知名度の向上に努める。

問 マグネット広告による市民協力型PR活動の可能性について問う。

答 アイデアとしては理解する。安全面や情報発信の効果性を考慮しSNS等を活用した現代の広報手法に合わせた工夫に取り組み。

問 観光協会等と連携した知名度アップの取り組みは。

答 観光協会HPやSNSを通じて情報発信、首都圏でのPR活動やノベルティ配布など戦略的な情報発信を行い知名度アップを図る。



萩原 哲也 議員
無所属

問 本年5月に市内上萩原大久保平地内で行われた芸術祭「大菩薩の風ビエンナーレ」について市、教育委員会が後援を行ったがその受け止め方は。

答 第10回を数える芸術祭であり、地元をはじめ20人を超えるアート作家を中心に発表を行った。地域、市民との交流や文化芸術振興に寄与するイベントと認識し教育的意義を有する。

答 出展された方には移住経験者がある。移住、定住を促進する施策として「甲州らいふ」で取材をし、生の声を次回発行に掲載活用

する。

問 芸術という切り口で、関係人口、定住人口増加、また地域振興へと考えるがどうか。

答 第3期甲州市総合戦略の中では、移住、定住対策、関係人口拡大を目標に掲げている。市内外の多様な人々が出展、来場する機会が創出される事に期待している。

問 展示場所として利用された、木工芸館と緑の交流館について、今後民間譲渡の検討は。

答 木工芸館は年間と通じた開館は行っておらず、ゴ

ールデンウィーク及び夏休み期間中のみ開館。緑の交流館については、地域の集会場として利用しており譲渡、貸出しは難しい状況。

問 災害時における生活用水の確保について問う。

答 水道については、水源33箇所、そのうち停電時利用可能な水源は表流水10箇所、湧水5箇所が市内に確認している。浄水機器等の設置状況は、浄水器3台、本庁、勝沼支所、大和支所に配備している。浄水能力は1時間あたり2トンである。毎年保守点検を実施、確認

をしてしている。購入から10年以上経過しているが入れ替えの計画はない。

問 災害時の生活用水確保で協力井戸登録への動きは。

答 国では本年3月災害時地下水利用ガイドラインを策定した。本市においては昨年度実施した市内26箇所の地下水調査の際に制度創設に向け現状確認を行った。また、市防災士連絡会においても井戸の調査を事業計画として進めている。

問 市と山梨大学との共同研究で開発した「かけ流し式小型造水機」の導入は。

始した。

問 給食センターで生ごみを焼却せず、二酸化炭素を排出しない生ごみ処理機が導入されたが、どのような物が問う。

答 甲州市のゼロカーボン施策の一つとして、公共施設のCO₂削減を目指す中、学校給食センターにおける生ごみ処理は課題であった。年間ではごみの量約9トン、CO₂約3トンが削減出来ると見込んでいる。

問 7月より開始された、リチウム電池の個別回収について問う。

答 4月に環境省から標準的な分別収集区分の一つとして位置づけることが通知された。全ての小型充電式電池及び製品本体から電池が外せない加熱式たばこ、ワイヤレスイヤホン、ハンディファンなどの指定の製品を回収することとした。

問 甲州市熱中症対策強力サポーター登録制度について問う。

答 熱中症による市民の健康被害の発生防止のために市と協働し、普及啓発に協力いただく制度となる。



甲州市ストリートピアノのご案内
(市HP)



日向 正 議員
どんぐり

問 小型充電式電池の回収方法は

答 不燃ガラス類の日に回収する



リチウム電池等の小型充電式電池の回収を呼び掛けるチラシ

問 甲州市の地域経済活性化を目指す地方創生推進事業での地域活性化起業者とはどんな人のことか問う。

答 甲州市特産品の販路拡大、加工品の開発、関係人口の増加に関することなど市の実施する地域振興に資する業務に携わってもらい、任期は最長3年間の予定。

問 副業プロ人材活用事業の内容を問う。

答 甲州市内で事業展開している経営者などが抱える多種多様な課題、悩み等の解決策をその道のプロの人材とともに考え実践することを目的とした制度である。

問 災害時の避難所開設・運営等の、市の役割と行政区の役割について問う。

答 災害の状況に応じて市の災害対策本部から各施設管理者に避難所開設の協力依頼を行い、施設の被災状況、安全を確認の上、開設することを決定する。市としては、備蓄品の輸送など円滑な避難所運営の支援に向け職員体制を整えている。

問 避難所開設の際、車で避難者の受け入れを問う。

答 市民の方には原則として徒歩での避難をお願いしている。様々な理由から車中泊での避難を希望される方には、受け入れ可能な場所において、区画分け後に確保していく。

問 キッチンカーなどが避難所で食事の提供が出来るような取り組みは可能か。

答 避難所でのキッチンカーの活用については、内閣府が、令和6年能登半島地震の教訓から災害時にキッチンカーなどの災害対応車両の提供可否などを事前に登録、被災自治体のニーズに応じて、迅速に提供できるように本年6月から災害対応車両登録制度の運用を開

した。

問 給食センターで生ごみを焼却せず、二酸化炭素を排出しない生ごみ処理機が導入されたが、どのような物が問う。

答 甲州市のゼロカーボン施策の一つとして、公共施設のCO₂削減を目指す中、学校給食センターにおける生ごみ処理は課題であった。年間ではごみの量約9トン、CO₂約3トンが削減出来ると見込んでいる。

問 7月より開始された、リチウム電池の個別回収について問う。

答 4月に環境省から標準的な分別収集区分の一つとして位置づけることが通知された。全ての小型充電式電池及び製品本体から電池が外せない加熱式たばこ、ワイヤレスイヤホン、ハンディファンなどの指定の製品を回収することとした。

問 甲州市熱中症対策強力サポーター登録制度について問う。

答 熱中症による市民の健康被害の発生防止のために市と協働し、普及啓発に協力いただく制度となる。



「甲州市熱中症対策協力サポーター」を募集します！
(市HP)



災害時での生活用水の確保は急務
(写真は年1回の点検を行う各庁舎に配備された浄水器)



有賀 公子 議員
公明党



甲州市結婚等新生活支援補助金について
(市HP)

問 大和地域のコンビニの閉店から一年半が経過する。道志村に公設民営のコンビニが開店した。住民の買い物支援やコンビニ誘致の必要性を問う。

答 誘致の採算性が課題である。買い物困難者対策、観光振興等を総合的に判断しながら、関係各課と連携し対応を検討していく。

問 国が行う新笹子トンネル改修工事の進捗状況は。

答 本体トンネル部分が大半側から掘削し約500mに達した。観音トンネル部分は現在用地交渉中。完成後は観音トンネルを封鎖、

日川側に300mの橋梁設置を行い本線を振り替える。完成後は現在の笹子トンネルは避難用として活用予定である。

問 道の駅甲斐大和への影響と今後の対応を問う。

答 工事期間中の交通規制や渋滞による道の駅利用者数や売り上げの一時的な減少が生じる可能性がある。影響を最小限に抑えるため、関係機関と連携してアクセス情報や工事情報を積極的に周知し、工事完成後も営業への影響が生じないように働きかけていく。

問 甲州市の結婚を考えている若者への支援のこれまでの取り組みを問う。

答 峡東地域3市合同結婚支援事業の成果として、昨年度は11組のカップルが誕生した。

問 結婚等新生活支援補助金についての実績と周知の方法を問う。

答 昨年度11件の利用があり、総額342万6千円が支援された。広報誌、HP、市民課窓口でのチラシ、塩山駅デジタルサイネージも使用して積極的に周知している。

問 避難所の備蓄品や設備について、生理用ナプキン以外の女性用備蓄品や、授乳室、おむつ替えスペース、女性の着替えスペースの確保について問う。

答 本市の公式LINEに、8月中を目途に緊急修繕が必要な場所の通報機能を追加する予定である。他機能の追加は費用対効果を考慮して研究していく。

問 備蓄品の数量チェックや賞味期限管理は。

答 定期的な点検・入れ替えを行っている。

問 保について問う。

答 本市の避難所用備蓄品としては、長期保存水、アルファ米、毛布、生理用ナプキン、マスク、段ボールベッド、間仕切りパーティション等保管している。防災危機管理室に女性職員を配置して女性の視点を取り入れた備蓄品選定を進めている。間仕切りパーティション等を使用して対応スペースを確保していく。



新笹子トンネル改修工事に伴い影響が懸念される道の駅甲斐大和

答 採算性が課題 関係各課と連携して対応を検討

問 大和地域にコンビニ誘致の必要性を問う



高畑 一幸 議員
政和クラブ



献血 Web 会員サービス「ラブラッド」
(日本赤十字社 HP)

問 減少する献血者への増加策は

答 スマートフォンアプリの登録周知を図る



献血当日、呼びかけのため市内を巡回する広報車

問 ここ数年の献血者数の推移を問う。

答 直近の令和5年度は2会場5回の実施で合計340名、令和6年度は339名の市民にご協力いただき、実績としては横ばいだが、コロナ禍以前と比較すると減少している。

問 献血実施日を広く市民に周知することが必要だと考えるが、献血実施日の周知はどのようにしているのか。

答 広報誌やHP、甲州市公式LINE、CATV番組等を通じて広く市民に周知啓発に努めている。ま

た、市職員へも積極的な協力を依頼している他、実施当日には宣伝カーにより市内を巡回し、献血協力を呼びかけている。さらに、本年度からの新たな取り組みとして、6月から開始した「健幸ポイント(こうしゅつ)」事業のポイント対象メニューにも「甲州市役所本庁舎会場または勝沼支所会場」で献血し、血液検査の結果を確認する」を追加した。

問 過去には、市の防災行政無線で献血の呼びかけをしていた。しかし、平成30年の12月より放送が中止となった。現在、県内で早川町を除く26市町村のうち、22市町村が防災行政無線で献血の呼びかけを行っている。本市においても、防災行政無線、放送による献血の呼びかけ再開の考えはないか。

答 防災行政無線は、「甲州市地域防災計画」において防災、応急救助、災害・復旧に関する業務に使用することを主な目的とした無線局と規定している。近年では、育児中や夜勤明けのご家庭等から、昼間の放送であつてもできる限り控えて欲しいとの要望も多い。

問 一般行政事務に関する放送は、不審者・有害獣の出没、気象庁等からの情報に基づく災害予防の周知、選挙の周知と投票啓発、また、市が関係する行事等において大雨等による中止の連絡以外は、実施をしない。

問 スマートフォンやタブレットを利用した周知の考えはないか。

答 「健康づくり推進協議会」との連携を含め、日本赤十字社が提供しているスマートフォンアプリ「ラブラッド」アプリの登録について積極的に周知していきたい。

問 大学等の進学奨学金返済は、卒業後の25歳前後から返済が始まり、返済期間は10年以上に及ぶ。就職、結婚、育児、住宅取得といった人生の重要な時期と重なり、経済的負担が大きい。若者の地元定着や中小企業の人材確保を後押しする観点から、本市においても企業代理返済支援の補助制度設計を検討する考えはあるか。

答 市長 スピード感を持って、創設について対応する。



丸山 国一 議員

フォーラム進夢



唐津くんち (唐津観光協会 HP)

問 防災基本法改正を踏まえ市の取り組みは。

答 避難者支援の充実、防災DX等改正法の趣旨を反映し防災体制を強化する。

問 富士山噴火に伴う火山灰対策について問う。

答 降灰予測を基にマスク、ゴーグル備蓄、処分地確保を進め、鹿児島市の事例も参考に情報発信を行う。

問 地域防災計画見直し状況を問う。

答 2年ごとの見直しで改訂版を作成。避難所用トイレカーの配備や防災危機管理室への女性職員配置を進め防災意識向上に努める。

問 自主防災組織への女性参画推進の考えを問う。

答 各避難所に女性職員を配置し、プライバシー確保や女性や子どもに配慮した避難所環境の整備を目指し、地域における女性の自主防災組織への参画促進につなぐと期待している。

問 熱中症対策として観光客への周知対応を問う。

答 観光協会HPでの呼びかけ、案内所の「涼み処」整備を進め、駅周辺での注意喚起を行っていく。

問 カスタマーハラスメント防止対策進捗状況を問う。

問 職員研修、名札を姓のみ表記などガイドラインを策定。全課長会議を通じ周知を図り、職員、来庁者を守り、安定した市民サービス提供に取り組んでいる。

問 空き家バンクの成果と課題について問う。

答 売却67件、賃貸22件を実現している。相続登記問題や、賃貸希望物件の不足が課題である。

問 空き家補助制度の状況について問う。

答 従前の補助に加え、制度改定により空き家解体費用も補助対象に追加した。

問 空き店舗対策の方向性

問 ホテル建設に伴う民間企業へのアプローチを問う。

答 ビジネスホテル、コンビニ誘致を進め、滞在型・

問 ホテル建設に伴う民間企業へのアプローチを問う。

答 ビジネスホテル、コンビニ誘致を進め、滞在型・

問 地域要望等を勘案し、協議の上決定していく。

問 ハローワーク跡地の活用について問う。

問 改修費・家賃補助、チャレンジショップ事業を実施し、創業支援と共に空き店舗対策を行っている。今後、商業の活性化を図るため、空き店舗バンク創設を検討していく。

問 武田信玄公の縁を活かし、文化的な友好交流を調査研究していく。

問 サウジアラビア大使との交流について問う。

答 市長 昨年の来訪を契機に、継続的な関係を大切にしていく。



武田信玄公の兜が曳山として巡行する唐津くんち

*ユネスコ無形文化遺産登録や国の重要無形民俗文化財に指定された佐賀県唐津市にある唐津神社の秋季例大祭 巨大な曳山(ひきやま)が作成され城下町を巡行する 曳山の1つに武田信玄公の兜もある

答 職員研修やガイドライン策定で対応

問 カスタマーハラスメント防止対策は



貸与された端末で学習する児童

問 激しい物価高騰が続いているが、市独自の市民生活を支える対策の考えは。

答 生活費軽減や市内企業や事業所の支援を行う必要があるが、支援規模を充実させるためには、国や県の財源に頼らざるを得ない。

問 7月使用分から水道料が値上げされるが、暑い時期6月、9月の4ヶ月、水道の基本料金を無料にすることはできないか。またその減収分を一般会計から補填することはできないか。

答 人口減少や節水意識が高まり、水道利用が減少していることに加え、水道設

問 一人当たりの占有面積が基準を下回る奥野田児童クラブの改善の計画を問う。

答 奥野田小学校生活科室の活用を前提とし、教育委員会と協議を始めた。生活科室と既存の施設を併用する上で、協定締結や条例整備、新たな支援員の確保や施設整備を順次進めていく。

問 学校により放課後や休日に子どもが校庭で遊ぶことを許可しないのはなぜか。

問 教育長 子どもは遊びを通して学ぶことが多い。学校ごとに運用方法に違いはあるが、制限は設けていない。校長会で確認する。

問 夏休み中、児童クラブの子どもたちの昼食を給食センターでお弁当を作り提供するところはないか。

答 保護者の負担軽減、利便性向上につながるが、食物アレルギーへの対応など、市としては難しい。また、給食センターでは、夏休み中に、調理器具の修繕や清掃、衛生管理研修などを集中的に行うため困難である。

問 ギガスクール構想の成果と課題について問う。

答 昨年度、市内2校がリーディングDX指定校として実践をした。自ら課題を見つけ自ら解決しようとする児童生徒の育成を目指し授業改善を行った。学習者主体の授業へと変化し個別最適な学びと協同的な学びの一体的な充実ができた。

問 スウェーデンなどでアナログに回帰する動きがあるが、どのように考えるか。

答 デジタルと現実の体験とをバランスよく学んでいくことが大事である。

答 資金不足になることから困難である

問 水道基本料金を無料にすることはできないか



佐藤 浩美 議員

日本共産党



水道料金改定のお知らせ (市 HP)

問 国の国保税の子どもへの均等割の半額補助をした場合の試算と補助の実施の必要性について問う。

答 昨年度末の加入者における試算では930万円である。均等割軽減額は交付金の対象外であり導入は考えていない。県の国保税の水準統一を見据え、国保財政の健全運営を鑑み、慎重に調査研究すべきである。

問 教育長 子どもは遊びを通して学ぶことが多い。学校ごとに運用方法に違いはあるが、制限は設けていない。校長会で確認する。

問 夏休み中、児童クラブの子どもたちの昼食を給食センターでお弁当を作り提供するところはないか。

答 保護者の負担軽減、利便性向上につながるが、食物アレルギーへの対応など、市としては難しい。また、給食センターでは、夏休み中に、調理器具の修繕や清掃、衛生管理研修などを集中的に行うため困難である。

佐藤 浩美 議員

日本共産党





令和7年度
補正予算

予算決算常任委員会
K O J プロモーション
今年はシンガポールへ



子育て世帯住宅取得
支援事業費補助金
(市HP)



昨年度英国にて行ったK O J プロモーション
甲州ワイン品評会の様子

予算決算常任委員会を6月6日、25日、30日に開催し、令和7年度補正予算を審査しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

令和7年度一般会計補正

予算(第1号) 戦後80周年事業の目的と周知の方法を問う。
答 日本原水爆被害者団体協議会の方の講演会を通して戦争を知らない世代に知ってもらう機会とする。甲州

市民文化会館で講演会を行い、平和展は、ロビーにパネル等を掲示する。各小中学校への周知や市のHPへ掲示する。
答 自立支援給付費審査支払等システム改修事業において、国のリリースに誤りがあり、市に落ち度はない。国の補助割合が2分の1とこのほかはどうか。
答 県にも要望しているが、今回に関しては、国では2分の1補助で決定している。

令和7年度一般会計補正
予算(第2号)

子育て世帯住宅取得支援事業費補助金の内容は、県の要綱に則り各市が実施し、夫婦ともに29歳以下の場合、上限を60万円とし中古住宅の取得やリフォームの費用などを補助する。

在宅高齢者生活支援事業費において通いの場整備及び運営の補助の内容は。
答 寄附があったので、備品を購入し介護支援課で保管し、各団体から要望があったときに貸し出しを行う。
答 廃止となった保育所2園の解体設計費が計上されているが、解体後はどのような活用を考えているのか。
また解体に対する地域の要望は。
答 神金地区は具体的な利用の要望があり、建物の解体を優先する。大藤地区は市に一任という意向があるが、園舎が土砂災害の警戒区域にあり、区から安全面を考慮して建物を先に解体してもらいたいと要望があった。
答 鈴木寮の譲渡先審査委員会外部委員の専門性やメンバー構成を問う。
答 副市長、4課長と外部委員2名。透明性を図って真に救護施設として機能維持が可能な事業者かどうか地域の特性を踏まえた上で

予算決算常任委員会
◎丸山国一 ○矢崎友規
中村勝彦 日向正
岡部紀久雄 高畑一幸
青柳好文 高野浩一
飯島孝也 小林真理子
平塚 悟 相沢俊行
小野公秀 佐藤浩美
有賀公子 萩原哲也

※甲州ワイン EU 輸出プロジェクト (Koshu Of Japan : KOJ) とは「甲州ワイン」を、ワインの本場 EU 市場に輸出することで、「甲州ワイン」の世界的な認知とともに、産地確立や市場拡大を狙うことを目的とした事業



厚生経済常任委員会

6/23

値上げ止む無し
大菩薩の湯



大菩薩の湯
(公式HP)

厚生経済常任委員会を6月23日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

問 この値上げで収支はどのくらい改善するのか。
答 利用者の減を見込み200万円の増収である。

交流保養センター(大菩薩の湯)設置及び管理条例の一部改正

問 利用料310円を500円とする改正だが、いくらの増収を見込んでいるか。
答 値上げによる入込み数の減少を見込み、360万円の増収となる。

問 回数券使用時に値上げ額との差額の支払いを求めないことや、高齢者の割引など検討が必要なのでは。
答 よく検討した上で指定管理者と協議していく。

やまと天目山温泉資源活用施設設置及び管理条例の一部改正

問 どのような丘事業の設置等に関する条例の一部改正
答 RV利用料の値上げ100円と10月1日から開始の理由を問う。
答 周辺同等の施設との比



燃料費などが値上がり、対策が必要な大菩薩の湯

較と周知期間を考慮した。

勝沼ぶどうの丘施設設置及び管理条例の一部改正
問 宿泊料の値上げで、増収の見込みはいくらか。
答 350万円の見込み。

その他で質疑した主な項目は以下のとおりです。
◎空家対策計画◎介護事業所◎大菩薩の湯

厚生経済常任委員会
◎中村勝彦 ○矢崎友規
日向正 岡部紀久雄
小林真理子 小野公秀
佐藤浩美 萩原哲也

総務文教常任委員会

6/24 6/30

特定扶養控除の対象
が19歳から22歳までに
拡大



甲州市の指定・選定・
認定文化財
(市HP)

総務文教常任委員会を6月24日、30日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

市文化財保護条例の一部改正

問 臨時委員を置く背景は。
答 既に委嘱された9人の文化財審議委員の専門分野外の案件が生じた場合、専門家を臨時委員として委嘱し対応するため。

その他で質疑した主な項目は以下のとおりです。

◎市制施行20周年記念誌市勢要覧、カラオケ大会、コンサート◎市長及び市公用車全般◎市内小中学校の学区
総務文教常任委員会
◎飯島孝也 ○有賀公子
丸山国一 廣瀬明弘
高畑一幸 青柳好文
高野浩一 平塚 悟
相沢俊行

市税条例の一部改正

問 扶養控除の改正点は。
答 扶養控除の年収条件は、103万円から123万円(所得48万円↓58万円)に引き上げられ、19歳から22歳の特定扶養親族に限っては、年収123万円を超えても150万円以下であれば、同額(63万円)の特定親族特別控除を受けられる。これは学生年代の就労の機会を妨げない目的。
問 加熱式たばこの税率引き上げ、紙巻式との差は。
答 令和8年4月1日から1本0.5円上げ、10月1日から1本1円になる。紙巻タバコと同じ税率に段階

表紙の写真

令和7年5月、学校最終学年の小学6年生、中学3年生になって1カ月余。児童生徒はキャリア教育出前授業で訪れた各議員に積極的に手を挙げ意見を述べてくれました。全ての小中学生の顔は載せられませんが、真剣な表情で、しっかりとした姿勢堂々と挙手をしている様子を収めようと狙った写真です。いくつか気になった写真を文字通り貼ってみました。



9月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
8/24	25	26	27	28	29	30
				本会議 (開会) 予算決算 常任委員会 (前期)		
31	9/ 1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
			本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	予備日	
14	15	16	17	18	19	20
		厚生経済 常任委員会	総務文教 常任委員会	予算決算 常任委員会 (補正予算)	予算決算 常任委員会 (総文分科会)	
21	22	23	24	25	26	27
	予算決算 常任委員会 (総文分科会)		予算決算 常任委員会 (厚経分科会)	予算決算 常任委員会 (厚経分科会)	予備日	
28	29	30	10/ 1	2	3	4
	予算決算 常任委員会 (後期)	本会議 (閉会)				

○午前10時開会です。(日程変更はホームページ等でご確認ください)
○市議会はどなたでも傍聴できますので、ぜひ議会議場・委員会室(市役所本庁舎 3階)へお越しください。

のんちゃん 絵日記



こちら編集室
 ■高齢化イコール老化ではありません。個人差は大きい。今年1月、鹿児島県の「いぶすき菜の花マラソン」に96歳で出場し、完走した奥山新太郎さんのタイムは、8時間43分46秒。過去20年間の国内公認大会で、最高齢の記録です。
 国民の平均寿命が84歳で、全人口の約5分の1が65歳以上となったシンガポールでは、政府が高齢者の就業を奨励する一方、水球に似た「フリッパボール」等の運動を日常的に行うことも推進しています。高齢者のイメージは、彼の地で

も変わりつつあります。来年度、環境センター跡地公園に、自然芝のグラウンドとウォーキングトラックがオープンします。市民の運動拠点となるでしょう。因みに、奥山新太郎さんの次の挑戦は、「98歳で7時間半で走りたい」です。(相)

市議会広報編集委員長 廣瀬 明弘
 編集委員長 有賀 公一
 副委員長 丸山 国一
 委員長 日向 正
 委員 岡部 紀久雄
 委員 高畑 一幸
 委員 青柳 好文
 委員 小林 真理子
 委員 相沢 俊行
 委員 佐藤 浩美



ようこそ甲州市議会へ!

5/21 大藤・玉宮・神金小学校と6/9 赤尾保育園がそれぞれ議場見学に来てくれました。

